

9/28

## 【靴屋の日】札幌 大きいサイズの婦人靴店がメンテナンス体験会を開催 愛用靴の“ゆとり”が不調を誘因 プロの調整で快適に履き続けてほしい

初めまして。私は、札幌市で25 cm以上の大きいサイズ専門の婦人靴オーナーの鈴木いづみと申します。このたび、「靴屋の日」である9月28日（木）に、足のサイズが25 cm以上の女性に向けて愛用靴をメンテナンスする無料体験会を店内で実施します。当日は、1万人以上の足をみてきたシューフィッターの関谷絢子さん（札幌在住）を招き、足の大きい女性ならではの履き癖に寄り添った靴のサイズ調整や履き心地の見極め方のアドバイスを行います。



▲靴裏のサイズ「43」はヨーロッパ表記で日本の27 cm相当。



▲「SEVEN AND A HALF」オーナー 鈴木 いづみ



▲札幌近郊だけでなく、東京や大阪など全国からオンラインを通じて購入する女性が多い。

日本人女性50万人以上の足の平均サイズは23.3 cmという調査結果のとおり（2020年株式会社zozo調べ<https://corp.zozo.com/news/20200611-10522/>）、25 cm以上の婦人靴の取扱は少ないのが現状です。札幌市内の百貨店でも取り扱うサイズの多くは25 cmまでで、大きなサイズ専門の当店を訪れる女性は、これまで窮屈な靴を我慢して履いたり、ようやく出会えた靴を長く履くことで対応したりしているのが実情です。

そこで私は、「上質で長く履きやすい靴を広める」という趣旨の「靴屋の日」にちなみ、長年、愛用してきたお客様の靴の履き心地をさらに良くするメンテナンスの無料体験会を開催することにしました。特に本革の靴は、長持ちする性質がある一方で“ゆとり”が生じて徐々にフィットしなくなるデメリットがあるからです。当日は、札幌を拠点に活躍するシューフィッターが一人一人の足を計測し、愛用の靴に中敷きやストラップを使って調整を行います。

私自身も足のサイズは26 cmと大きく、国内での靴選びに悩んできた経験があります。当店は2000年から靴の販売を開始しました。店名のSEVEN AND A HALF（7.5）は海外の靴のサイズ表記に由来します（イギリスサイズ7.5は日本の26.0 cmに相当）。サイズの幅が広く、おしゃれなデザインの多いヨーロッパの商品を仕入れることで私と同じような女性のお役に立てると感じています。ただ、上質でぴったりの靴でも経年変化は否めません。今回の「靴屋の日」をきっかけにメンテナンスすることで足のトラブルを未然に防ぎ、さらに長く履き続けられることをお伝えしたいと思っています。

そしてこれからも、大きいサイズの女性に快適さとおしゃれを兼ね備えた靴を提供していくつもりです。

お忙しいことは存じますが、この件につきまして御取材いただき、報道のお力で多くの方にお知らせ頂ければ幸いです。

### イベント概要

- ◆名 称：【愛用靴のメンテナンス体験会】
- ◆日 時：9月28日（木）11時～18時
- ◆対 象：足のサイズ25 cm以上の女性6名（時間予約制・無料）※満席となりました。
- ◆内 容：シューフィッター関谷絢子（せきや あやこ）氏による足の計測、中敷きやストラップでのサイズ調整、履き方のアドバイス  
※当日は予約していない方でも店内をご覧くださいことができます。

### <取材のお問い合わせ>

SEVEN AND A HALF オーナー 鈴木 いづみ

北海道札幌市中央区大通西16丁目3-27 美術館前ビル3F

広報担当：掛橋 TEL：090-2074-3578 Mail：[koho@castreport.jp](mailto:koho@castreport.jp)



HP